

平成30年度

福島スーパー・イノベーション・ハイスクール(SIH)

福島県立磐城高等学校の取組



最先端分野の学習

大学等の訪問調査や講義などを通じ、社会変革や技術変革にかかわる、社会科学や自然科学の最先端研究への理解・関心を深めています。そして、社会貢献への高い志を持った起業家や経営者、行政官、法律家、研究者、医師、技術開発者等の人材育成を目指しています。

東北大学訪問研修



4月18日(水)

生命科学、農学、理学、薬学、工学等、様々な学問分野の研究を最前線でされている大学教授等や大学院生から直接指導をいただきました。

学問に対する興味・関心が高まり、さらに、学習意欲の向上につながったという感想が寄せられました。

キックオフセミナー



5月1日(火)

福島大学の小沢喜仁教授にお越しいただき、福島の実状や復興の必要性、また復興からイノベーションによる地方創生等について、ご講演いただきました。自分たちが福島のために何ができるのか、考えるきっかけになりました。

高度な探究活動

浜通り地域等で進む先端研究や産業集積等に関し、ICT 機器等を活用したフィールドワークや観察実験を行い、課題解決能力・プレゼンテーション能力・ディベート力の育成・向上を図っています。

日英サイエンスワークショップ2018



7月30日(月)～8月5日(日)

東北大学において、普通の学校生活では目にすることができない研究者の様子を間近で見たり、イギリスの高校生と一緒に実験を行ったりする等、貴重な体験をしました。

東日本大震災や原子力発電所事故の経験を踏まえ、災害やエネルギー等、今後の世界の課題ともいえるテーマについて、日英の生徒同士で議論を交わすなど、グローバルな視点を養うことができたワークショップとなりました。

廃炉・イノベーション現場見学ツアー



8月8日(水)

楡葉遠隔技術開発センターではロボットシミュレーターやフライトシミュレーターの体験、さらにはVR体験を行いました。菊池製作所ではマッスルスーツの着用等、最新の科学技術を体験することができました。また、第一線で活躍する研究者のお話も伺いました。

廃炉や復興の現状を自分の目で見る、充実した見学ツアーとなりました。

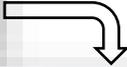
地域理解に向けた探究活動

地域の課題と現状を考察するグループ学習や、いわきアカデミア推進協議会と連携した地元企業の見学、経営者やスペシャリストとの出会いと対話等を通じ、人的ネットワークの大切さと地域社会や地域産業への理解を深めています。

いわきアカデミアとの連携による イノベーション企業・研究所訪問研修



事前学習



訪問研修



最終発表会



11月30日(金)～

市内14の企業等*の協力を得て、訪問予定の企業等から出された課題について、班ごとにタブレットを用いて情報を収集して整理、考察を行い、訪問先で発表しました。工場見学や体験活動等をさせていただいた企業等もあり、貴重な経験となりました。

数日後、今度は訪問した企業等の方々を本校に迎え、訪問時に受けた指導を反映させながら、高校生独自の視点を踏まえて発表を行いました。



- いわきの未来の担い手として、これからどのように地域産業に関わっていけば良いのか考えさせられました。
- 地域の課題や現状について深く考えることができました。地元に住ながらも知らないことがたくさんあったので、まずは地元いわきに高い関心を持つことが大切だと感じました。

津波被災地区探究活動



2月19日(火)～

本校放送委員会が、震災直後から記録してきた映像を見て学習した後、(株)スペースワンの協力のもと、ドローンを使用した久之浜地区と豊間地区の映像から、現在の復興の様子を鳥瞰的な視点で学びました。

生徒それぞれが、タブレットでドローン映像を振り返りながら、生徒どうして感想を共有するとともに、自分は復興にどのように関わっていけるかまとめ、発表スライドを作成しました。



- 道路が復旧していたり、がれきが処理されたりしているのを見て、復興が思っていたより進んでいることを実感しました。
- 津波被災地区がこれからさらにどのように変わっていくのか、関心を持って見ていきたいです。

※ 以下の14の企業等に御協力いただきました。

トラスト企画(株) (株)ピュアロンジャパン (株)タンガロイ 会川鉄工(株) あすか製薬(株) ときわ会常磐病院 いわき市役所 (株)ネクスト情報はましん 特定非営利活動法人ザ・ピープル いわき信用組合 常磐興産(株) 東洋システム(株) 小名浜精錬(株) 福島県小名浜港湾建設事務所 (敬称略)

医学・医療系人材育成支援

地域医療に貢献する人材育成に向けて、医療の現場見学や、現場の医師による出前講義などを通して、医療についての理解を深めました。

医師と医大生による医学への招待



2月23日(土)

本校を卒業した現役医大生と現役医師を招き、座談会形式で行われました。

高校時代の思い出や学習方法に関する話から、医師を目指すきっかけ、さらには現役医師による医療現場に立つ際の医師としての覚悟の話まで、幅広くお話を聞くことができました。参加した医療系を目指す生徒は、最後まで真剣に耳を傾けていました。

- ・ 医学部に入って良かったことや、医学部という進路選択をしたその先に何が待っているのかを知ることができ、今後の自分自身の進路に大きく影響しました。
- ・ 現役の医師や、国家試験を受けたばかりの現役医大生がいらっしや、さまざまな立場での話を聞くことができて大変参考になりました。



平成30年度磐城高等学校 SIH に関する主な取組

4月18日	東北大学訪問研修	9月14日	ようこそ先輩（本校卒業生との対話）
5月1日	キックオフセミナー （小沢 喜仁 先生 講演会）	10月3日	職業人講話（地域の職業人との対話）
5月23日	福島県立医科、茨城、筑波大学訪問研修	10月4日	最先端研究講義 （東北大学教員による出張講座）
6月14日	県立医科大学看護学部教員による出張講座	11月11日	「第8回科学の甲子園」福島県大会
7月23日～ 8月2日	日本・ベラルーシ友好訪問団 2018	11月30日～	いわきアカデミアとの連携による イノベーション企業・研究所訪問研修
7月30日	県立医科大学医学部教員による出張講座	12月25日	第1回高校生が被災地で考える防災サミット in 福島
7月30日～ 8月5日	日英サイエンスワークショップ 2018	2月13日	磐高ドローンアカデミー
7月31日	東北大学最先端研究見学	2月19日～	津波被災地区探究活動
8月5日	第3回廃炉国際フォーラム	2月23日	医師と医大生による医学への招待
8月8日	廃炉・イノベーション現場見学ツアー	3月2日～ 3日	東日本大震災メモリアル day2018

※ 本校のSIHの取組においては、様々な場面で福島イノベーション・コースト構想推進機構や福島県教育委員会の御協力や御支援をいただきました。